

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ワンセルフながのごう		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>個別支援の充実と柔軟な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのアセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。 計画書を職員間で共有し、計画に沿った支援を徹底している。 個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、子どもの状況に応じた柔軟な支援を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習机や静養室を設け、落ち着いて活動できる環境を整備している。 活動プログラムを固定化しないよう工夫し、子どもの成長や発達段階に応じて柔軟に変更している。 支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の情報共有をより円滑にし、支援の一貫性を向上させる。 子どもの特性や状況に応じた対応をさらに強化し、支援の質を向上させる。 活動プログラムの種類を増やし、子どもの選択肢を広げることで、自己決定の機会を増やす。
2	<p>環境整備と安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境を提供している。 定期的に換気整備と清掃を行い、安全で快適な空間を維持している。 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、発生を想定した訓練を定期的実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日清掃や換気を徹底し、安心して過ごせる環境を維持している。 落ち着いて活動できるよう、学習スペースや静養スペースを整備している。 事故や怪我が発生した際には速やかに保護者に連絡し、対応を明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画に基づいた日々の衛生管理や訓練の実施、安全面の配慮を強化する。 定期的な安全点検を行い、改善が必要な箇所を速やかに対応する。 感染予防や災害時の行動などが適正に取れるよう学びの場を設け、利用者様自身の力を育てていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向け評価表を活用し、保護者の意見を業務改善に反映している。 保護者と日々のやり取りを行い、子どもの状況や成長を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の様子をノートや口頭で伝え、保護者と子どもの成長を共有している。 相談体制を整え、保護者が気軽に相談できる環境を提供している。 保護者からの要望を定期的にヒアリングし、サービス改善に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの頻度を増やし、より多くの保護者が参加できる機会を提供する。 保護者同士の交流の場を設け、悩みや情報を共有できる環境を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 現在の利用者様状況に応じた建物の設計のため、バリアフリー化がされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現段階では、スロープ等が必要な利用者様の受け入れがないため、駐車場の砂利や玄関前等に階段となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状況に応じて施設内環境の適正化を検討し進めていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士での交流機会の不足。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍を通し、大きな行事等の開催が不可能になった後、徐々に開催開催を進めているが、要望に応じて交流ができる機会を設ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所単体や同グループ内の事業所との行事の開催の企画、保護者参加の場の提供を増やしていく。
3			